

研究課題名	被爆者スライド標本データベースの構築と解析
研究期間	実施許可日 ～ 2033年 9月 30日
研究の対象	広島で被爆し、1945年8月～1945年12月の間に亡くなり、病理解剖を受けられた方。
研究の目的・方法	研究目的：被爆の影響を明らかにすることです 研究の方法：研究対象者の解剖記録内にあるデータとスライド標本を使用します。スライド標本をバーチャルスライドスキャナを用いてデジタル化し、データベースを作成します。標本から得られる所見と記録にある被爆の情報とを合わせて解析を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、病歴、被爆歴、解剖の所見等 試料：スライド標本
外部への試料・情報の提供	ありません
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	試料・情報はデータベースへ登録、解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。 対応表は、本院の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	研究責任者 広島大学原医研附属被ばく資料調査解析部 助教 杉原清香
その他	開示すべき利益相反はありません
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方のご遺族（配偶者、お子様まで）にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学原医研附属被ばく資料調査解析部 担当者：杉原清香 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

	電話番号：082-257-5877
--	-------------------